

医療的ケアを含む重い障害のある人の 地域生活の実現のために ～これまでとこれから～



《シンポジウムテーマ》

重い障害のある人の「本人の希望」をどう受け止め、計画にしていくのか。

また、重い障害のある人の暮らし方として、どんなバリエーションが考えられるか。

『その時に整えられるべき条件は』

『支援者として目指す方向は』

～医療的ケアを含む重い障害のある人の
地域生活の実現のために～

今 共有したいこと!

2014
3.15 sat

12:00～ 開場

12:30～ 主催者挨拶

12:40～13:40 平成25年度訪問の家 自主研究事業報告
社会福祉法人訪問の家 多機能型拠点「郷」
諫山徹太郎

「今、地域で暮らしている本人・家族へのインタビュー」より
「多機能型拠点『郷』開所から1年間のまとめ」
「医療的ケアを含む重い障害のある人の地域生活の実現のために」～これまでとこれから～

13:50～16:30 シンポジウム

DPI日本会議事務局長 尾上浩二さん
・国の施策の動き～尾上さんの思い・考え～

おおさか地域生活支援ネットワーク理事長 北野誠一さん
・西宮における「本人中心計画」の体制について
・「肢体不自由者の住まいづくりサポート事業検討委員会」より

西宮市社会福祉協議会事務局長 清水明彦さん
・青葉園の地域自立生活の実践と思い
・「共生会館」の構想

NPO法人地域生活を考えよーかい代表 李国本修慈さん
・重い障害のある人がどんなふうに住んでいるか
～全国を回り肌で感じたこと～

コーディネーター
社会福祉法人訪問の家 理事長 名里晴美

シンポジウム後半は、会場からの発言もいただき、シンポジストの方々、会場のみなさんとともにテーマを深めていきます。

17:30～ 懇親会(シンポジストを交えての懇親会)
会場:ふれあいショップさんぽみち(1,000円)
栄公会堂地下1F

2014年3月15日[土] 12:30開演(12:00開場)

神奈川県立地球市民プラザ プラザホール(JR本郷台駅より徒歩3分)

全席自由席
入場無料(資料 受付配布)

参加申込方法
参加申込書にてFAXでお申し込み下さい。

問い合わせ
社会福祉法人訪問の家
自主研究事業事務局 ☎045-894-4640

主催:社会福祉法人訪問の家

本研究事業は、公益財団法人ヤマト福祉財団「平成25年度ヤマト福祉財団福祉助成金」を受けて行っています。

地域の中で多くの人と出会い、気持ちを感じ合い伝え合いながら、重い障害のある人自身が自分らしい暮らしを築いてきています。その歩みを振り返り“これから”を見定めたいと考えました。その人らしい暮らしが将来に渡って守られる社会に向かっていくために、これから何が必要でしょうか。この研究事業にご助言いただいたシンポジストの方々、そしてお集まりくださった皆さんと共に考えたいと思います。

社会福祉法人訪問の家 理事長 名里晴美

自主研究事業報告会とシンポジウム参加申込書

FAX送信先 045-894-4647

所属

氏名 (複数申込みの場合、全ての方のお名前を記載して下さい)

①

懇親会参加有無

参加 ()

②

参加 ()

③

参加 ()

連絡先 (参加票送信先住所・複数参加申込みの場合は代表者連絡先)

〒

参加申込み受付後、事務局より「シンポジウム参加票」を郵送させていただきます。

シンポジウム当日は「参加票」を受付にお持ち下さい。

懇親会に参加される方は、懇親会会場受付で費用をお支払いください。

なお、有料駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ

社会福祉法人訪問の家自主研究事業事務局

☎045-894-4640 (吉田)

